

リステンリボン施工要領書

日本リステン株式会社

〒509-5103 岐阜県土岐市泉東窯町 4-65

TEL(0572)53-4123

FAX(0572)53-4125

目 次

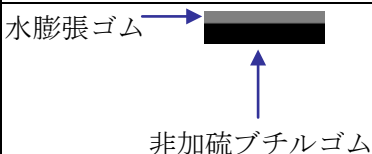
1.	リステンリボンについて	1
2.	止水板の形状	1
3.	副資材、使用量	2
4.	施工道具	2
5.	施工方法	3

1. リステンリボンについて

リステンリボンは被圧水に強い水膨張ゴムと、コンクリートに強力に接着する非加硫ブチルゴムの複合構造止水板です。

また、リステンリボンは止水性の良さに加え、後付施工+粘着性があるため施工が簡易で、高い止水効果と施工性を併せ持っています。そのような性能を評価され、さまざまな構造物において使用していただいています。

2. 止水板の形状

商品名	形状	寸法(mm)
リステンリボン		H4.5×W15×L10,000

3. 副資材、使用量(目安)

- ・コンクリート釘(L25mm)
- ・リステンボンド US-3000(330ml)
- ・リステンシール D-51(320ml)
- ・ボンド C-41(1 kg)

副資材 取り付け工法	コンクリート釘 (L25 mm以上)	接着剤
水平部	1本/m	・リステンボンド US-3000 50m/本 (下地状態により)
垂直部	1本/m	平滑下地 ・ボンド C-41 60m/缶
		ラス下地 ・リステンシール D-51 3m/本 (下地状態により)
H鋼		・ボンド C-41 60m/缶 ・リステンボンド US-3000 H鋼 8本分/本

4. 施工道具



・ハサミ又はカッターナイフ

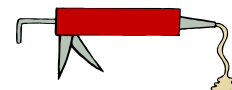


・ハケ

・清掃道具



・ハンマー



・コーキングガン

5. 施工方法

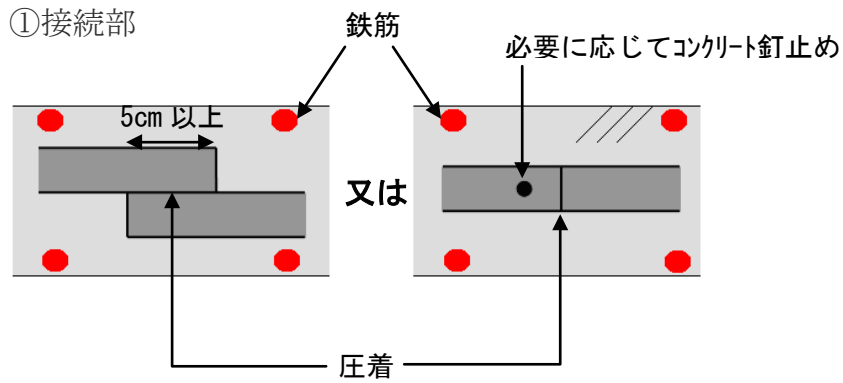
- 1) 水平打継部 (図 1) ※地上部のみ、地下部には使用不可
 - ①コンクリート面のごみ、砂、レイタンス等を取り除く。
 - ②フィルムを剥がしたリステンリボンを設置箇所（止水板端からコンクリート被り 20 mm確保できる位置）に圧着する。必要に応じて釘止め。
 - ③角部はゴムを 90 度にカットして折り曲げるか、ドン付け、または大きな円弧で取り付ける。
 - ④ジョイント部はドン付け、または 50mm以上並列密着させる。
 - ⑤凹凸形状により下地面と密着していない箇所は US-3000 にて補修する。

- 2) 垂直打継部 (図 2) ※地上部のみ、地下部には使用不可
 - ①コンクリート面のごみ、砂、レイタンス等を取り除く。
 - ②平滑下地にはボンド C-41、ラス下地にはリステンシール D-51 を幅 10mm 程度で施工面全体に塗布する(止水板端からコンクリート被り 20 mm確保できる位置)。
 - ③フィルムを剥がしたリステンリボンをボンド塗布部に圧着する。必要に応じて釘止め。
 - ④ジョイント部はドン付け、または 50mm以上並列密着させる。
 - ⑤凹凸形状により下地面と密着していない箇所は D-51 にて補修する。

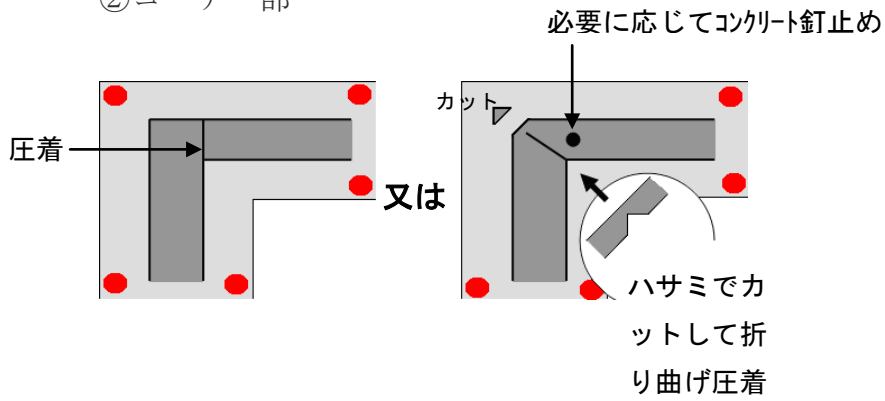
- 3) H 鋼 (図 3) ※地下部も使用可
 - ①ワイヤーブラシ等で接着面を清掃する。濡れている場合はバーナー等で乾かす。
 - ②施工個所にボンド C-41 を塗布。
 - ③入隅部でリステンリボンが大きく浮かないよう一方向から圧着していく。
 - ③入隅部は貼付け後リステンボンド US-3000 で上下シール。
 - ④ジョイント部は 50mm以上並列密着させる。

- 4) 管 (図 4) ※地下部も使用可
 - ①接着面を清掃する。
 - ②ジョイント部は 50mm以上並列密着させる。

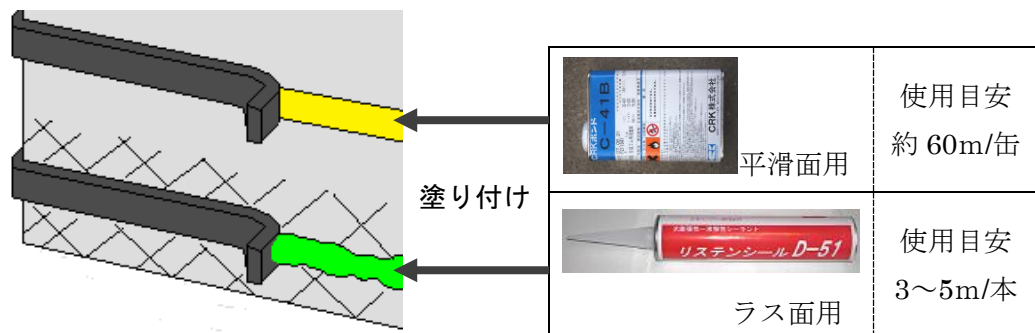
(図1)
水平打継部



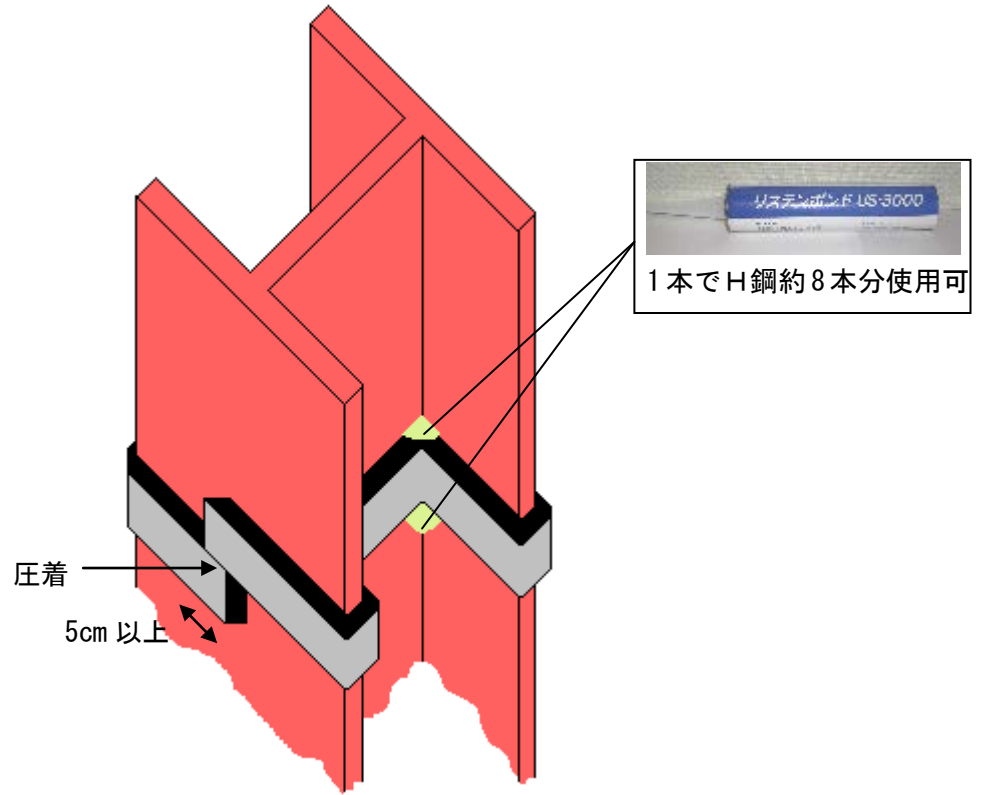
② コーナー部



(図2)
垂直打継部



(図 3)
H 鋼



(図 4)
管

